

回復ドライブ作成手順

2025-08-27

新規作成

Windows11 Pro 23H2の回復ドライブ作成ができなかったので、できるようにする手順。



管理者権限での実行が前提！

ファイルの破損があったら回復

以下の2点を実行

- sfc /scannow
- dism /online /cleanup-image /restorehealth

```
C:\Windows\System32>sfc /scannow
```

システム スキャンを開始しています。これにはしばらく時間がかかります。

システム スキャンの検証フェーズを開始しています。
検証 100% が完了しました。

Windows リソース保護により、破損したファイルが見つかりましたが、それらは正常に修復されました。
オンライン修復の場合、詳細は次の場所にある CBS ログ ファイルに含まれています
windir\ Logs\CBS\CBS.log (たとえば C:\Windows\Logs\CBS\CBS.log) □オフライン修復の場合、
詳細は /OFFLOGFILE フラグによって指定したログ ファイルに含まれています。

```
C:\Windows\System32>dism /online /cleanup-image /restorehealth
```

展開イメージのサービスと管理ツール
バージョン: 10.0.22621.2792

イメージのバージョン: 10.0.22631.5771

[=====100.0%=====] 復元操作は正常に完了
しました。

操作は正常に完了しました。

```
C:\Windows\System32>sfc /scannow
```

システム スキャンを開始しています。これにはしばらく時間がかかります。

システム スキャンの検証フェーズを開始しています。
検証 100% が完了しました。

Windows リソース保護は、整合性違反を検出しませんでした。

```
C:\Windows\System32>
```

回復環境の準備

回復ドライブ作成の準備ができているか確認。

- reagentc /info
- reagentc /enable

```
C:\Windows\System32>reagentc /info
Windows 回復環境 (Windows RE) およびシステム リセット構成
情報:

    Windows RE の状態:          Disabled
    Windows RE の場所:
    ブート構成データ (BCD) ID:  xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
    回復イメージの場所:
    回復イメージ インデックス: 0
    カスタム イメージの場所:
    カスタム イメージ インデックス: 0
```

REAGENTC.EXE: 操作は成功しました。

```
C:\Windows\System32>reagentc /enable
REAGENTC.EXE: Windows RE イメージは見つかりませんでした。
```

```
C:\Windows\System32>
```

reagentc /enableでエラーが出た。見つからないイメージは同じバージョンのWindowsからのコピーか、ISOイメージからの抽出で対応する。
ここではISOイメージから入手する。

ISOイメージから抽出

Windows11 Pro 23H2 のISOイメージをマウントして、ファイル install.wim から目的の回復イメージ winre.wim を抽出する。
dismコマンドがエラーを吐くので、マウントしたISOイメージから直接アクセスではなく、ローカルドライブにコピーして利用する。

install.wim のマウント

G:\install.wim のマウント先フォルダ G:\mount を作成する。

```
CD /D G:\
MD mount
```

ここではISOイメージをKドライブにマウントし、install.wim をGドライブ直下にコピーする。

```
CP K:\sources\install.wim G:\install.wim
```

install.wim 内の抽出対象を確定する。この例だとインデックスが3のモノが対象。

```
G:\> Dism /Get-wiminfo /wimfile:"G:\install.wim"
```

```
展開イメージのサービスと管理ツール  
バージョン: 10.0.22621.2792
```

```
イメージの詳細: G:\install.wim
```

```
インデックス: 1
```

```
名前: Windows 11 Home
```

```
説明: Windows 11 Home
```

```
サイズ: 19,049,857,449 バイト
```

```
インデックス: 2
```

```
名前: Windows 11 Education
```

```
説明: Windows 11 Education
```

```
サイズ: 19,322,291,064 バイト
```

```
インデックス: 3
```

```
名前: Windows 11 Pro
```

```
説明: Windows 11 Pro
```

```
サイズ: 19,355,333,244 バイト
```

```
インデックス: 4
```

```
名前: Windows 11 Pro Education
```

```
説明: Windows 11 Pro Education
```

```
サイズ: 19,322,241,274 バイト
```

```
インデックス: 5
```

```
名前: Windows 11 Pro for Workstations
```

```
説明: Windows 11 Pro for Workstations
```

```
サイズ: 19,322,266,169 バイト
```

```
操作は正常に完了しました。
```

```
G:\>
```

install.wim のインデックス3の内容をマウントする。 内容を展開する

```
G:\> dism /mount-wim /wimfile:"G:\install.wim" /index:3 /mountdir:"G:\mount"
```

```
展開イメージのサービスと管理ツール  
バージョン: 10.0.22621.2792
```

```
イメージをマウントしています
```

```
[=====100.0%=====]
```

```
操作は正常に完了しました。
```

```
G:\>
```

結構待たされるので気長に

winre.wimコピーと回復ドライブ有効化

winre.wimをコピーする。

```
CP G:\mount\Windows\System32\Recovery\winre.wim C:\Windows\System32\Recovery
```

回復ドライブ作成許可を出す。

- reagentc /enable
- reagentc /info

```
G:\> reagentc /enable
REAGENTC.EXE: 操作は成功しました。

G:\> reagentc /info
Windows 回復環境 (Windows RE) およびシステム リセット構成
情報:

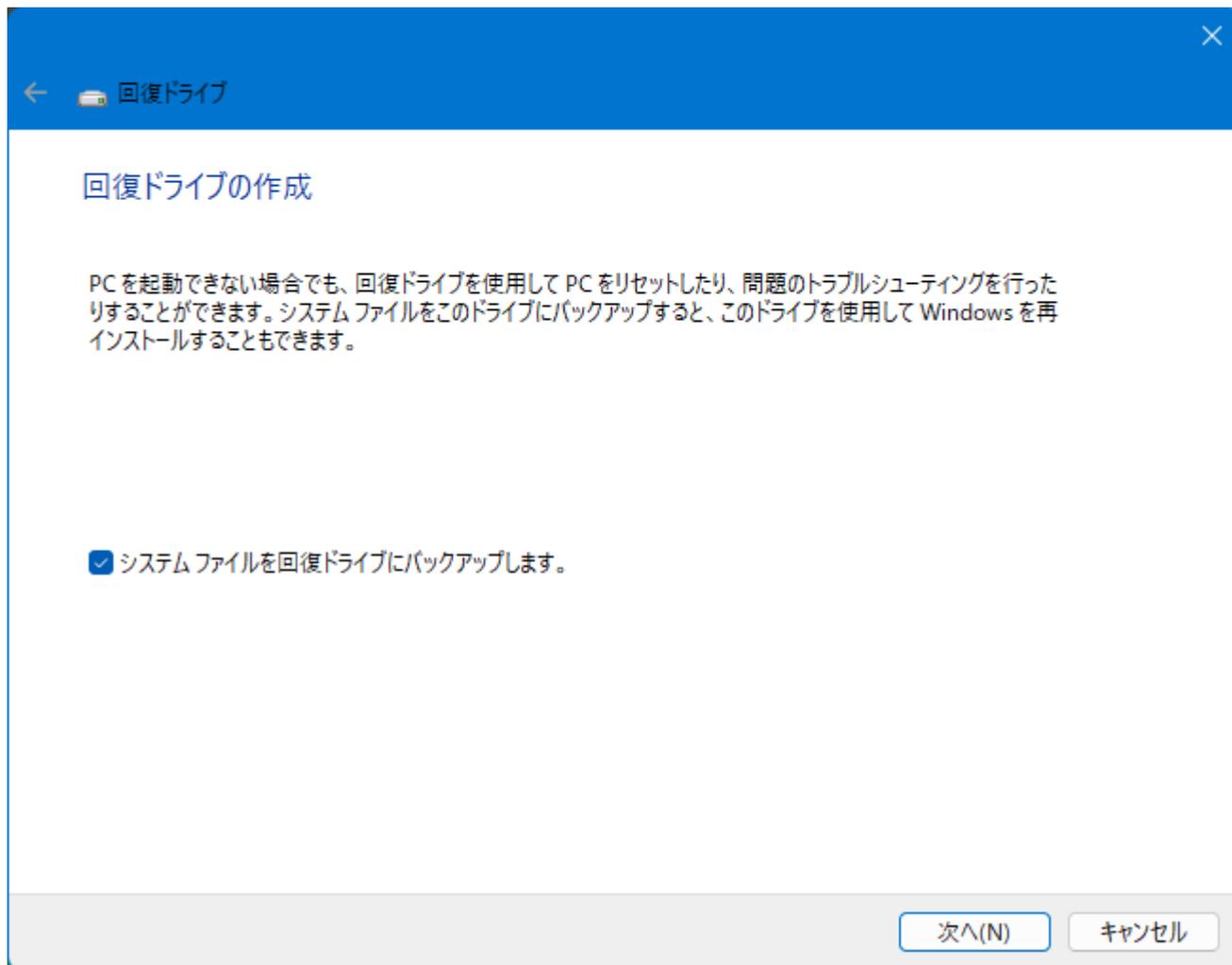
    Windows RE の状態:          Enabled
    Windows RE の場所:
    \\?\GLOBALROOT\device\harddisk0\partition3\Recovery\WindowsRE
    ブート構成データ (BCD) ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
    回復イメージの場所:
    回復イメージ インデックス: 0
    カスタム イメージの場所:
    カスタム イメージ インデックス: 0

REAGENTC.EXE: 操作は成功しました。

G:\>
```

回復ドライブ作成

動くようになった。



追記

install.wimじゃなくて install.esd が入っている場合もあるようです。この場合は install.esd から install.wim を取り出さなきゃいけないみたいです。

<https://qiita.com/kunutomo22/items/142fc352ef95145c82ad>

[技術資料](#), [回復ドライブ](#), [dism](#), [sfc](#)

From:
<https://wiki.hgotoh.jp/> - 努力したWiki

Permanent link:
<https://wiki.hgotoh.jp/documents/windows/utis/util-001>

Last update: **2025/08/29 17:27**

